

ピースクラブ通信

No.52

発行 社会福祉法人 ピースクラブ
 所在地 〒556-0014 大阪市浪速区大國1-11-1
 連絡先 TEL 06-66647-2007
 FAX 06-66647-2008
 Eメール peaceclub@s2.dion.ne.jp
 P http://www.ab.auone-net.jp/~peace_c/

「寝たきり革命」

大西 洋子

「寝たきり革命」は、
 本来に今、深化してい
 ます。

選挙が終わって春さ
 んはどんどん活性化し
 ています。

指談で会話が出来る
 ようになったと言いま
 したが、まだまだ春さ
 んの考え方とか聞き
 取れませんでしたが、
 白雪姫プロジェクトの
 方のお世話になった
 ら、春さんずーっと考

えていたんでしよう。
 いろいろ全部話してく
 れました。そして考

えている事を読みとる
 ことで他の器官も活性
 化され、体温調整、嚙

み合わせ、どんどん良
 くなっています。
 魂が震えるという
 か、びっくり仰天。倒
 れる前にはかなり独り
 よがりの話しぶりだっ
 たのが、その人その人
 に合わせてわかりやす
 く明快に話すのです。

例えば、都構想につ

いては「言葉遊びで実
 態の無いことに振り回
 されて、一番困るのは
 市民です。消防一つ
 とつても、行政区が

かわつたら、どうなる
 のか。唐突すぎる。」

とか分かりやすいんで
 す。春さんと一緒に今

からでも都構想につい
 て反撃しなくてはと思
 いました。
 とにかく、私もまだ
 まだついて行けてませ
 んが、どんどん形に
 して行こうと思いま
 す。

ウソツパチの薄っぺ
 らな今の世の中に絶望
 と恐怖心を持っていま
 したが、勇気がモクモ
 ク沸いてきます。



与太郎の

与太話

ゆりえちゃんは報告が

好きだ。

毎朝必ず事務の千恵

ちゃんにお得意の自分

の手に文字を書いて
 今日の日いち天気は始
 まり今日の行動まで一
 通り話す。

千恵ちゃんは必ず復
 唱する。

それをかつちゃんは横
 でじつ〜と見ている。

かつちゃんも千恵ちゃ
 んにこだわりの報告が
 あるみたいだ。

かつちゃんは待つて
 いる。ひたすら待つて
 いる。

ゆりえちゃんが動くの
 を待つている。

ゆりえちゃんの長い報
 告が終わわり、かつちゃん
 は一歩を踏み出した。

その瞬間！ゆりえち
 ゃんは舞い戻りまた長
 い報告をするのだった。

きょう 今日もゆりえちゃん
のながい報告は続
くのだ。

かつちゃんは今
の前に必ず手を合
せて、「いっただき
す」と言つ。

これは中川五郎氏
の言いつけたそう
だ。

それはおつくん
の49日お別れ
会の冒頭で起
こつた。

美味しそうなご
ちそうはすでに
テーブルの上
に並んでいる。

さゆり姐さん
の始まりの
ちよつと長い
挨拶のあと
いつもなら
乾杯だが、

きょう 今日はおつくんのお
別れ会。

黙祷30秒、電
気も消

された。

10秒20秒と
流れ暗

闇と沈黙のな
か、かつ

ちゃんの「い
つただき

まーす」が響
いた。

会場は笑いに
包まれ

しんみりとし
たムード

を一気にふつ
飛ばすな

んてスゴすぎ
るぜ！か

つちゃん。か
つちゃん

んは中川五郎
氏の言

いつけを守つ
ただけな

だ。



しんちゃんとかつちゃん

私の思い出の旅

中川五郎

わたしは、今回の鳥取旅行
が楽しみで待ち遠し
かった。

車は中国道を走り、
山陰の方に向か
つた。

ピースを出て約2
時間余り、神戸三
田の赤松

PAにて休憩を取
り、

車にもう少し進
み、

山崎IC手前の安
富P

Aにて昼食を食
べま

した。

安富町はかかし
の故

郷だと聞いた。

かかしの人形が
飾ら

れていた。

そこを出て、目
的地

の鳥取砂丘まで高
速道路を急いだ。

鳥取市内に入り
いよ

目的地に近づ
くと

私のテンション
があ

り、待ち遠し
かつた。

鳥取砂丘に着
いたら、

みんな喜んで
砂丘に

向かって歩
いた。

砂丘は雄大で
広く、

山頂は傾斜が
急で、登

りにくかつた。

私達は各自頑
張り、

山頂を目指
した。

私は少し息苦
しくな

つたが、それ
でも山頂

頂上について、さ
すがに息切れが
激しくな

つたので、少し
休んだ。

しばらくして又、
みんなと一緒
に砂丘の砂

上を素足で頑
張って下

つた。
砂丘はとても
素晴らし

かつた。
ラクダに乗
れなかつた

ことが、少し
心残り。

その後私達は
宿泊先の三朝
温泉に向か



鳥取砂丘にて

車を飛ばすこと約1時間半で到着。三朝の町は昔ながらの旅館が建ち並んでいた。山と川に囲まれた、静かで情緒ある町でした。その中に私達が泊まる宿、斉木別館がありました。門構えが良く、中に入ると中庭が素晴らしかった。7階に案内された部屋は、大きな入り口、石畳の玄関、二重格子のドアがあり、リビング、ベッドルーム、10畳ぐらの部屋、さらにひのきの風呂がありました。



浦富海岸にて遊覧船



姫路城

窓の外も素晴らしい景色でした。

夕食も素晴らしい食事、ゆったりと風呂に入っ、一夜をみんなで楽しく過ごしました。

二日目の朝はバイキングを食べて、少しして、旅館を出発しました。車にて約二時間、そこは港町、遊覧船がある浦富海岸。

島が多く、洞窟の穴も多い、見所いっぱい船の旅。約40分の旅でした。

船着き場の待合室の横に食堂「あじろや」があり、そこでイカ墨カツカレーを食べた。初めて食べた。

しばらくそこで休憩して、そこから姫路城に向かうことにした。海も山も景色は素晴らしく最高でした。

姫路市内に入ると、白く輝く城が車中より見えてきた。

私は大声を出しそうになった。

姫路城の駐車場に車を止め、私達は城のほうに向かって坂を上り、入り口に着いたのだが、残念ながら閉門していた。私達はあきらめて、車に戻り、大阪に向かった。

途中、大渋滞に巻き込まれ、大阪市内に入ったのは8時を回っていた。

何人かを自宅に送り、ピース到着は8時30分過ぎになりました。

今回の旅行は最高でした。素晴らしい二日間の旅でした。二日間運転して頂いた満くん河ちゃんにありがとうと言いたいです。

聞き取りインタビュー

話し手 瓶田 初男
聞き手 上村 編集員

① 体の調子はどつですか？

瓶 だるい。しんどい。

① 痛い所は？

瓶 右の足、太もも、右

の脇腹、腰もちよっと。

① 今、欲しいものは何ですか？

瓶 ビール！。焼き肉！。

① 他は？

瓶 生！、生ビール！。

焼き肉食べ放題！。生

2杯！。

① 食べ物以外で？

瓶 ウィンナー、ソー

セージ、ウィンナー。

キムチ多め！。大根は

食べない。白菜だけ。

① (食べ物以外とちやうし、焼き肉ばかりやん)

① 行きたいと思ってる場所は？

瓶 あの〜環状線の〜、
① ええ、今宮、大正、
弁天町？。芦原橋？
瓶 そうそう、芦原橋の焼
き肉食べ放題！
① (やつぱり焼き肉や
ん、旅行先を聞いてん
のに)。
瓶 猿ちゃんからなん
ぼかもらうわ！。
猿ちゃん、上村君
と焼肉行くからお金ちょ
ーだあ〜い！。

以下省略。

瓶ちゃんも6歳を過ぎ、
体のあちこちにガタが
きているようだ。
平日は立ち仕事でヘト
ヘト。覇気がなく元氣
がない。

土曜、日曜日になると、
別人のようにはしゃい
でいる。
どつちが本当の姿な
のだろうか？。どつ
ちも本当の姿だろう
が、なんせ体が言う事
を利かないのだろう。

体の事を考えれば、
土曜、日曜日は部屋で
ゆつくりすればと忠告
するが、一人でいるの
が嫌みいだ。

以前は聡ちゃんに「瓶
ちゃん、嫌い」の些細
な一言で必ず百発百

で激高していた瓶ちゃ
んも、百発三十中ぐら
いに減ってしまった。
成長して大人になつ
たと言つより、怒る気
力の低下だろうか？。

あんだだけ、挑発され
て不機嫌になりつつも、
週に何回かは聡ちゃん
を連れて散歩に出かけ
る。

「かわいい弟？子
分？」
聡ちゃんは手下になる
タイプじゃないんやけ
どね。

てなづけるには、暴れ
馬タイプ。それでも、
2人けなげに歩く姿
は、仲良し兄弟のよう。
今日も主導権争いを
繰り返す。

5月のガイヘルのお知らせ

5月 9日(土)あります。(第2土曜ですが)
5月 16日(土)会議の為、ありません

5月のスケジュール

5月 8日(金) 夜、居酒屋にて
春さん選挙ありがとう会

「指談で春さんと話せたよ！」

姫野隼人

先日、4月12日。折しも春さんの市議会選の投票日に、白雪姫プロジェクトの指談ワークショップに、春さん、大西さんらと参加してきました。

白雪姫プロジェクトとは遷延性意識障害など、いわゆる植物状態になった人と意思疎通をはかり、刺激を与え目覚めを促進するという試み。

そのなかで意思疎通の手段として指談というものがあり、介助者が話す人の指を持って指先の腹に書いてもらおう、というものです。ピースでいうとゆりえちゃんの筆談をもっともっと小さく行うよくなものをイメージし

てもらおうといいでしょう。はいといいえを表

現する【O】と【/】の練習中、突然春さんの指が変な動きをしはじめました。…これは、【み】？

かな？ 『春さん、もしかして字を書いているの？』と尋ねると【O】それからO/を駆使して、春さんが指談をしていることを確信しました。

注意深く読んでいくと 『【み】がわかったよ！』 『…春さん、いま、意味がわかったよ、って言ったの？』 春さんはしっかりと 『O】と書いてくれま



【みつぞうや】『密造やつて！(笑)』

(大西さんの言によると京都のヤカンで密造どぶろくを出してくれていた店の話らしい)

【わいんはあか】『しろはのんだきがせえへん』

その言葉を受けて大西さんが『胃ろうからワイン入れたるか？』

(笑)『と冗談を言う』と春さんは『よえばいいゆうもんでもない』【こころをかいほうするものや』

と答えたのでした。なんと冗談に対してのツッコミまで…！思わず涙があふれました。



そのあと、ピースに春さんを訪ねてきたお客さんに春さんは静かに言葉を書いたのでした。

【ありがとう、手と手をとりあっていこう】

現在も僕は春さんと指談で色々話をしています。読み取りはなかなかうまくいかないこともあるけれど、春さんが言うには言葉を交わせるだけで希望がわいてくるということなので、ゆつくりとでも頑張っていきたいと思っています。

